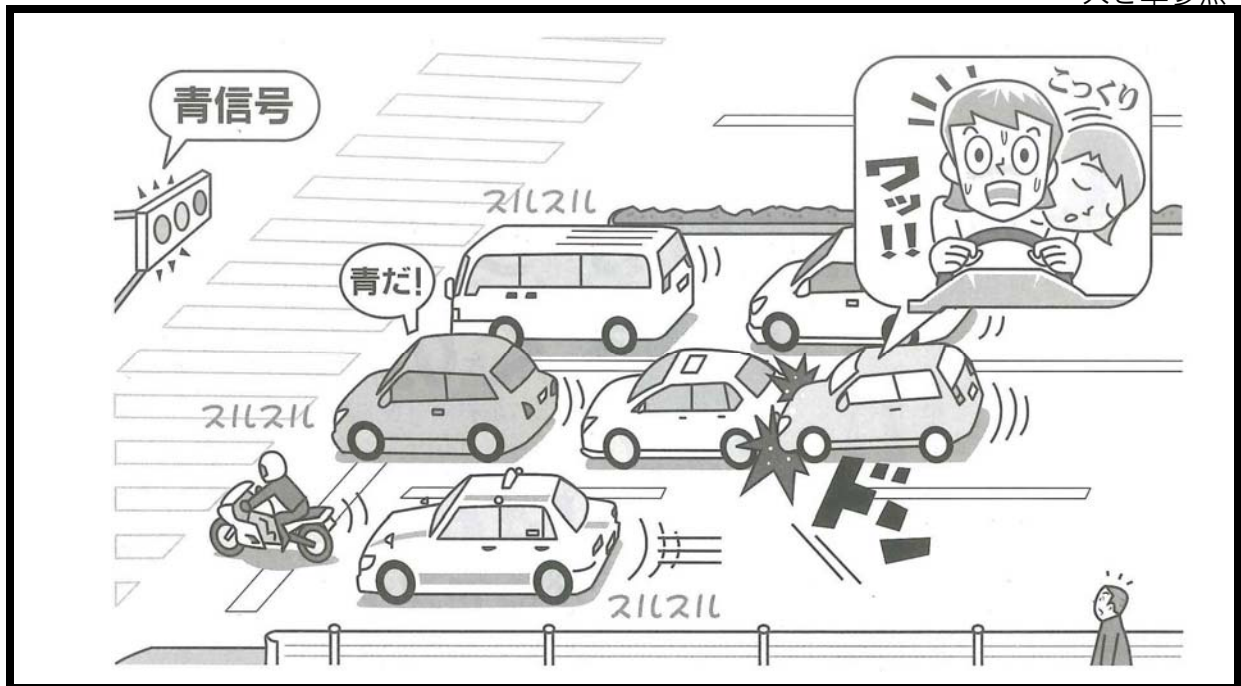


■事故の概況

人と車参照



事故類型：追突

発生日時：昼過ぎ

当事者A：普通乗用車 20歳代 女性

当事者B：普通乗用車 詳細不明

■ 事故の概要

Aは付き添いの為、病院へ向かっていました。毎日通る道路を走行し、信号交差点に差ししかかったところ、赤信号が見えたので、前に停止しているB車の後ろに約3.5mの間隔をあけて停止しました。

しかし、信号待ちのその一瞬に眠ってしまい、「はっ」と気が付くと対面する信号が青になっていました。まわりの車両が動き出す気配を感じ、前のB車も動いていると錯覚して慌ててアクセルを踏みましたが、まだ停止していたB車に衝突しました。

追突されたBは、前車がまだ動き出していなかったため停止中でした。

■ 事故から学ぶ

車を運転中にもかかわらず、一瞬睡魔に襲われたこと、いわゆる居眠り運転をしてしまったことが原因です。さらに、目が覚めたとき寝ぼけていたのか、慌ててアクセルを踏んでしまいました。落ち着いて周りを見渡していれば、状況を把握することができたかもしれません。

運転の最中は「ラジオや音楽を聴く」「ガムを噛む」「水を飲む」「歌を唄う」など、安全に支障のない範囲で、眠くならないような工夫をすることも大切です。

運転時間の長い短いに関係なく「疲れたな・眠たいな」と感じたときや、体調がすぐれないときは、無理をせずこまめに休憩をとるなどしましょう。